

図書館だより 9月号



福島県岩瀬郡鏡石町旭町440番地6

Tel 0248-62-1288

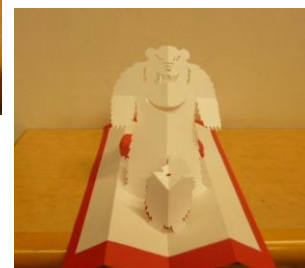
9月のスペシャル展示コーナーのテーマは「アンデルセン特集」です。

ハンス・クリスチャン・アンデルセンはデンマークの童話作家です。代表的な作品は、日本人にも身近なもので「マッチ売りの少女」「みにくいアヒルの子」「人魚姫」「はだかの王様」などがあります。今年は没後150年にあたることから特集を企画しました。小さな子どもさんから大人まで楽しめるアンデルセン童話を読んでみませんか？皆様のご来館をお待ちしております。

図書館ニュース

◎「みんなの造形教室」を開催します！

- ・講師：絵本造形作家 菊地 清先生
- ・日時：10月4日（土）午後1時30分～
- ・場所：図書館1階 レファレンス室／・定員10名（参加費無料）
- ・持参するもの：ハサミ、カッターナイフ、ボンド



※小学校低学年までのお子さんは、刃物を使いますので、
大人の方と一緒に申し込みください。

※感染症拡大防止に十分配慮して開催いたします。

また、状況により中止になることもございますのでご了承ください。

こちらの作品を作ります！

立体カード

「宮沢賢治のなめとこやまのくま」

📖 今月のピックアップ



◎「ふるさとの川をめざすサケの旅」 平井 佑之介：写真・文／文一総合出版

季節は秋、約4年かけて10,000キロメートル以上も海を旅した後、生まれた川に戻ってきたサケの群れがいます。メスは産卵場所を探して、川底の砂利や石を尾びれで動かそうとするので、体はもう傷だらけになっています。1匹のメスが産む卵は3,000個。そのうち川に帰ってくるのは、わずか15匹ほどと言われているそうです。

ふるさとの川に帰ってきたサケを追って撮影した写真絵本です。

◎「80歳からでも若返るすごい脳活おりがみ」

伊達 博充：著／西 剛志：監修 株式会社あさ出版

86歳の現役建築士が創作おりがみで生き生きと日常を楽しむ方法を、脳科学者の西先生と語り合う本です。手作業をすることで、脳の前頭前野を含む広い部分が活性化するそうです。なぜ折り紙が、脳の活性化や認知機能のトレーニングになるのかをわかりやすく説明し、楽しみながら作れる折り紙の折り方も掲載されています。



※このほかにも、たくさんの新刊が入荷しております。詳しくは毎月発行の新刊図書案内をご覧ください。